

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		グループホームは生活の場であり、配食サービスより手作りの食事を希望する家族が多い。食材を使った手料理を利用者は楽しみにしている。	手作りの食事やおやつを利用者と協力して作ったりする。	利用者と共に買い物に行き、月に2回ほど本人の好きなメニューを提供したり、週に1度は手作りの食事を提供したりなど心掛ける。現在おやつは手作りのものを提供している。利用者ができることを参加してもらう。	6ヶ月
2		家族から職員研修や食事内容の改善、利用者の日常や行事での表情を伝えてほしいという要望がある。その要望に現在応えられていない状況だと思われる。	家族からの要望に応え、提供していく。	家族からの要望で特に多い、職員向上の要望は職員研修や他施設への見学などを随時行っていく予定。行事を行った際には写真付きのおたよりを家族へ送る。	6ヶ月
3		計画作成担当者が不在の時期があり、現在は十分な介護計画が作成されておらず、書類が整っていない状態である。新たな要望を聞き入れ、見直し期間に捉われず身体状態に合わせた介護計画作成が望まれる	本人、家族からの介護に対して支援への要望を聞き、スタッフ・その他の関わっている人たちとの話し合いのもと、支援していく。	まず、家族・本人の要望を聞く。その後スタッフ、その他の人たちの話し合いの場を設け、モニタリングにより新たな介護計画の見直しを行う。	6ヶ月
4		地震に対する訓練と夜間想定訓練が行われておらず地区の訓練にも参加していない為、防災対策は十分とは言えない。さまざまな想定での訓練を繰り返し行い全職員で危機感を持った訓練を行わなければならない。	年2回行われている防災訓練をスムーズに行うようにする。	地震に対しての防災訓練を早急に行うようにする。夜間訓練などは夜勤者が中心に行い、随時夜勤訓練を行えるような体制を作る。	12ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。